

■**米国：FERCが大規模停電発生に対するAPS社への325万ドルの罰金を承認**

連邦エネルギー規制委員会（FERC）は2014年7月7日、2011年9月に米国南西部で発生した大規模停電に関して、発生原因となったアリゾナ・パブリック・サービス（APS）社に対して325万ドル（約3.3億円）の罰金を承認した。大規模停電は、APS社の作業員の操作ミスに起因するカスケーディング（連鎖事象）が発生し、カリフォルニア州南部、アリゾナ州南西部およびメキシコの一部の広範なエリアが停電した（合計270万軒、最大12時間）。FERCおよび北米電力信頼度協会（NERC）は、同社に対し重大な信頼度基準義務違反があったとして罰金を決定した。罰金325万ドルのうち、NERCと財務省にそれぞれ100万ドルずつ支払われ、残り125万ドルを供給信頼度改善（同期位相計測装置や電圧維持のための電力用コンデンサの新設、系統図や地図のパネル化など）への投資に使用される。